

授業科目名： 獣医衛生科学特別演習 B（東京農工 大学）		単位数 2 単位	担当教員名： 教授・准教授・講師
			担当形態： 単独
配当年次： 1 年次通年	授業形態： 演習科目		開講形態： 第 1 副指導教員による研究指 導
授業のテーマ及び到達目標： 履修者各自の研究課題に対して、論文作成上に必要とする実験的な手法について指導し、 履修者がそれら実験的手法の理論などを理解し、手技を学ぶことを到達目標とする。			
授業の概要： 動物衛生及び公衆衛生に関する高度な専門知識に関して、第 1 副指導教員が履修者の研究 内容に応じて研究テーマに関連する実験上の知識の教授と助言を行い、博士論文の作成を支 援する。			
授業計画： 獣医衛生科学講座に所属する履修者の研究内容に応じて実験場の知識の教授と助言を行う。 以下のとおり、博士論文の研究テーマに密接に関連し、必要とされる実験的な手法について指導する。 このことを通じて、博士論文に通じる学生の研究テーマに密接に関与する技術、技能を養う。 ①研究テーマに応じて必要な実験の実施方法を指導する。 ②実験で得られたデータの管理法、解析法を指導する。 ③実験で得られたデータと先行研究との比較、研究の限定性を含めた考察を指導する。 ④学会などでの成果発表を支援する。 ⑤学術論文の作成を支援する。 （白井 淳資） 家畜伝染病、伝染病制御と消毒、病原体検出 （竹原 一明） バイオセキュリティ、飼養衛生管理基準、病原体、畜産農場 （永田典代） 人獣共通感染症、ウイルス、病原性因子、動物感染モデル、新興・再興感染症 （藤川 浩） 食中毒、腐敗、予測モデル、リスク評価、食品安全 （水谷 哲也） 家畜感染症、伴侶動物感染症、エキゾチックアニマル感染症、人獣共通感染症 （李 天成） 人獣共通感染症、バキュロウイルス発現系、疫学			

(谷口 隆秀)

発生工学、疾患モデル動物、感染病態形成、病原体分子生物学、感染症診断

(林谷 秀樹)

集団、人獣共通感染症、食中毒、分子疫学、微生物生態

(古谷 哲也)

動物感染症、ウイルス、原虫寄生虫、病原性、感染防御

(石原 加奈子)

食中毒、薬剤耐性菌、疫学解析、分子疫学解析

(大松 勉)

感染症、家畜、エキゾチックアニマル、防疫

テキスト：特になし

参考書・参考資料等：特になし

学生に対する評価：受講状況・態度や、実験手技ならびに結果の解釈における習熟度、理解度などにより総合的に評価する。